

2015年度 次世代ワイヤレス通信技術講座 第4講

講座長：山本平一先生（奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授）

最新ワイヤレス通信技術を学ぶ！

- 対象者 研究・開発技術者から管理者・経営者まで
- 講師陣 山本講座長の企画による最先端でご活躍の講師陣
- 低価格 公益活動であるメリットを活かしたリーズナブルな受講料
- 分かり易さ じっくり基礎技術から最先端技術・動向まで
- 幅の広さ 年間受講により最先端技術や事業動向の把握が可能

受講料

会 員：12,000 円
非会員：15,000 円

日時 11月20日（金） 13:30～17:00

会場 ハービス PLAZA 5F 会議室（大阪市北区梅田2丁目5番25号）

プログラム ※事情により講演者・講演内容・開催日・場所が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

大規模 MIMO のための信号処理技術

大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 准教授 衣斐 信介 氏

大規模 MIMO は数百のアンテナを用いて数十の端末との通信回線を確立する技術であるが、これまでの MIMO 技術の利用アンテナ本数をスケールアップし、単純に周波数利用効率が向上するだけではない。物理学・情報統計力学の分野で多用される“More is different.”（量が増えると質が変わる）の視点に通じるものが大規模 MIMO の最大の魅力である。具体的には、大規模な送受信アンテナ数により、大数の法則が有効に働き、送受信機のデジタル信号処理を簡素化できる魅力がある。このような信号処理の観点から、大規模 MIMO の有効性を明らかにすることを本講演の目的とする。

13:30
～
15:10

15:10～15:20 休憩（10分）

無線 LAN 関連技術の標準化動向

京都大学大学院 情報学研究科 通信情報システム専攻 教授 守倉 正博 氏

1997年に初代 IEEE 802.11 規格が成立して以来、2.4 GHz 帯の 11b の製品がトリガーとなり、その後 5 GHz 帯の 11a 規格で 54 Mbps の伝送が実現し現在の無線 LAN 普及の基盤が築かれた。無線 LAN の歴史は各種の技術革新を用いて、その後も 11n, 11ac 規格と発展を遂げ、伝送速度を指数関数的に増大させてきた。本講演では最新のマイクロ波帯 11ac 技術の解説を行うとともに、ミリ波帯無線 LAN の 11ad 技術について解説する。最後にマイクロ波帯において現在審議が行われている 11ax 技術について述べる。

15:20
～
17:00

申込要領

申込方法

下記ウェブサイトからお申し込みください。
申込後、受付完了メール（自動返信）をお送りいたします。
お申込み内容をご確認ください。

ウェブサイト

<http://www.kec.jp/seminar/jisedai15/>

送金方法

請求書をご送付いたします。記載の指定銀行にお振り込みください。

ご注意

※受講票等は発行していません。資料は当日配付いたします。
※請求書発送後のキャンセルは原則としていたしかねます。
※欠席の場合は代理出席を受け付けております。

お問い合わせ先

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一
TEL: 0774-29-9041 / E-mail: publication01@cec.jp

会場案内図



■最寄り駅(徒歩)		
阪神梅田駅(西改札)		約 5分
JR 大阪駅(桜橋口)		約 7分
JR 東西線北新地駅(西改札)		約 10分
地下鉄四つ橋線西梅田駅(北改札)		約 5分